

30,9,2017

こんにちは！私は2017年9月から Universität Trier に留学しています。現在参加しているオリエンテーションプログラムは、大学の講義が始まる直前の10月中旬まで続くため、10月号にまとめてお伝えする予定です。そのため、第一号は、私が留学することを決断した流れと心持ち、これからの展望をお伝えしようと思います。



まずは、『ドイツ便り』を更新できて、とても光栄です。ホームページを管理している先生にお願いし、書かせていただきました。

私は大学入学前から、ヨーロッパの風土に興味がありました。風土について知るためには、その土地で生活し、人と交わり、会話することが必要だと考え、大学ではヨーロッパの言語を学ぶことにしました。また、大学入学後は外国語教育センターを利用しようと考えていたため、受験生の頃から、勉強の息抜きに外国語教育センターのホームページを閲覧していました。そしてある日、ドイツの事情を知ることができる『ドイツ便り』を発見。先輩方が綴った『ドイツ便り』は、受験生だった数年前の私にとって、希望を与えてくれるものでした。先輩方には感謝してもしきれません。

しかし、島根大学に入学し、初修外国語でドイツ語を学ぶなか、私は、自分が選んだ道が本当に正しかったのかわからなくなっていました。言語自体に興味を失ったため、ドイツ語の授業に思っていた通りついていくことができませんでした。前期の間、何度も立ち止まり、自分が学びたいことは何か、どうなりたいのかを深く考える日々が続きました。

入学前は漠然としか考えていなかった留学。入学後、大学という新たな世界で他の物事に興味が向くようになったことや、ドイツ語が想像以上に難しかったことなどが原因で、完全に考えなくなりました。

転機となったのは、一回生の後期に、Trier 大学からの留学生とタンデム（互いの言語を教えあうこと）を始めたことです。ドイツから留学生が来ることは、前期の授業中に知っていました。授業後に先生のもとへ行き、「留学生とタンデムをしたい」と伝えていたため、先生を介して留学生と知り合うことができました。違った文化を持つ彼らと交わるうちに、



私はドイツの文化を「もっと知りたい」と思うようになります。そして、10月末の留学説明会に出席し、願書提出締め切りまでの、与えられた1か月の期間じゅう、必死に、必死に考えました。その際、国際交流課に相談し、Trier 大学に留学したことがある先輩とやり取りすることが可能になりました。

た。先輩には、意見をいただいたり、後押ししていただいたりと大変お世話になり、感謝しています。

私が本当に留学を決意したのは、翌年の春でした。

冬の間は、ずっと悩んでいました。実際のところ、私には、勉学の面以外にもやりたいことがたくさんありました。一例を挙げるとすると、「協調性を身につけたい」という気持ちから、何か一つの事柄を人と一緒に作り上げていくような活動をしたと思っていました。あるいは、文章を綴るのが苦手なため、自分が書いた日本語の文章を、指導してもらいながら、向上していきたいと思っていました。こうした思いが、「日本にいて努力した方が、変わるのではないか」という考えを生み、決断を遠ざけていました。

さらに私は、留学を考えている時期に、日本人留学生が事件に遭ったという報道や、ヨーロッパでテロが起きたという報道を幾度か耳にしました。そのためか、夢で、覆面の人に銃を向けられる光景を何度か見ることもありました。その恐怖から、留学について考えられない日々もありました。しかし、何が原因でこのような事件が起きるのか、どうして怖いのか、この悪夢と留学とはどういった関係があるのか、周りに相談しながら自問自答を続けました。

様々な思いを含め、私は留学を決めました。私の人生には、ヨーロッパで生活する経験が必要だという結論に至ったのです。上記のような活動ができる場はドイツにもあると思うので、見聞を広めてみようと思います。文章力については、先生のアドバイスを受け、まずは本を読むことにします。そのため、重量制限のあるスーツケースに、衣服や雑貨は取捨選択したものの、書物は惜しみなく詰めてきました。場所が違うからといって、やりたいことを行動に移さないうちに諦める必要はないと思っています。また、良くも悪くも自分が生きてきた地とは違う地にいることを常に忘れず、ドイツでも生活していこうと思います。

留学直前期は、無性に涙があふれてくることがありました。人に弱音をこぼすことさえありました。そのたびに、親身になって受け止めてもらっていました。私は多くの人々の心に助けられ、支えられ、後押しされて、ここに来られたのだと思っています。感謝の念を忘れずに、日々生きていきます。



私はこの先、インターンシップに挑戦して、働く社会という視点から、ドイツを眺めてみたいと思います。直近では、ボランティアやクラブなどの活動に参加して、人と交わりたいと思います。また、島根大学の次世代の学生に、異文化に触れることの素晴らしさを感じてほしいので、島根大学をPRし、留学生を呼び込みたいと思っています。そのため、周りにも意見を求め、留学先としての島根大学の良さを見つけていこうと思います。まだまだやりたいこと

はありますが、おそらく次から次へと増えていくので、早く取り掛かることにします。日々が貴重で、あふれる機会の取捨選択をしながら、予定でいっぱいの日々を駆け抜けていきたいと思います。そして数年後顧みた時、そこに一凜の花が誇らしく咲いていればいいな、と思います。



最後に、昨日フリーマーケットに行ってきました。そこで本当に気に入った服に遭遇。たくさん買うのは好きではないので、お金をあまり持って行かなかったのですが、値段を尋ねると、予算より3ユーロ高い金額を言われました。諦めかけていたその時、一緒に買い物をしていた Trier 大学の友達がすかさず値切ってくれました。そして私はその一着を購入することに成功。嬉しさとともに、よりドイツ語で話せるようになりたいと実感した一日でした。